



並木中等story

令和4年5月26日号

理解しようとすることはできる

昨日の並木中等storyで“人を理解するのは難しい”ということを書きました。では、どのようにしたらよいのか。これについて、私が(教育相談の)先輩から教えていただいたことを書いてみます。「人を理解する」「人を理解した」というのはナンセンスです。自分だって自分のことを理解できない時もあるのだから。“人を理解する”ことは他人ではできないことです。ただ、私が言えることは“理解しようとしていますよと伝え、理解する努力を続けること”はできるということです。」同時に、その先輩からは次のよう



なことも教えてもらいました。「人は“Aさんには話せるが、Bさんには話せない”というように、話せる人と話せない人がいる。教育相談では、話し手が話をしても良いと思わなければ話を聞かせてもらえません。無理して聞き出してはいけません。」理由は、無理に聞き出そうとすると、その人は2度と話をしに来なくなるからということでした。話をしてもらうには、その時までにはその人との人間関係を築いておくことが大切なのです。

《祝！文部科学省教育課程研究実践協力校指定》

文部科学省から連絡があり、本校が本年度、物理及び科学の科目で教育課程研究実践協力校に指定を受けました。昨年度、一昨年度の地理の指定に続き、3年連続となります。本校では新学習指導要領の観点別評価について研究を深めてまいります。